

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社プライムケアマネジメント A-Z KID'S		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 22日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 1月 22日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内だけでなく野外活動も多く取り入れ、様々な経験ができる環境を整えている。	子どもたちの意見を取り入れ、クッキング・工作・外出支援などを実施し、社会性や人間関係の育成につなげている。	行き先のマンネリ化を防ぐための情報収集を継続し、安全に配慮した新しい活動場所を開拓する。
2	子どもの意見を尊重し、自分でやろうとする意識を育てる支援が定着している。	集団活動・自由遊びで意見を聞きながら活動を決定し、身支度・排泄なども自立を促す声かけを継続している。	子どもの特性理解を深め、職員間で対応方法を共有し、より一貫した支援を行う。
3	家族との連絡・共有が丁寧に行われている。 事業所での活動や、行政連絡等を送迎時やLINE等で共有していく	支援ソフト(メイプル)と申し送りノートへの細やかな記録入力力を心がけ、誰でも対応できる体制づくりを進めている	成長過程がより伝わるよう、記録の質を高め、共有内容の一貫性を強化する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別の空間の確保が難しく、部屋の使い方に工夫が必要である	子どもたちの遊び方・過ごし方に応じた環境調整が求められるため。	子どもの特徴を共有し、静かに遊べる玩具やテント遊具の導入を検討する。
2	職員の療育に関する経験やスキル不足をなくすため、知識向上が必要。	保育経験に加え、障がい特性や事故・災害対応の知識が求められるため。	外部・内部研修を継続し、日々の関わりの中で学びを共有する。
3	現在情報発信がSNS (Instagram) のみに限られている。	ブログや活動報告の更新体制が整っていない。	ホームページでのブログ更新、イベント予定の発信など、保護者・地域に向けた情報提供を強化する。